

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和6年度第2回入間市立図書館協議会
開 催 日 時	令和6年11月8日(金) 午前10時00分 開会 ・ 午前11時30分 閉会
開 催 場 所	入間市教育センター 第1・第2研究室
議 長 氏 名	会長 清水繁
出席委員(者)氏名	清水繁、森谷秀一、塩澤榮一、北村陽子、松田千代、多田麻由美、 浅地由紀子、青山衣津子、島津恵子
欠席委員(者)氏名	石川京子
説明者の職氏名	館長 平岡康子、主幹 松本智、副主幹 松下麗比奈、西武分館長 本 田潤一
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 会長あいさつ 3 協議事項 (1)第3次入間市立図書館基本計画(令和4年度～令和8年度) の進捗状況について 4 報告事項 (1)令和6年度上半期の事業について 5 その他 6 閉会 (すべて公開)
非 公 開 理 由	なし
傍 聴 者 数	1名
配 布 資 料	・ 次第 ・ 入間市立図書館協議会委員名簿 ・ 第3次入間市立図書館基本計画(令和4年度～令和8年度)の進捗 状況について(P1～P6) 資料1 ・ 令和6年度上半期の事業について(P7～P8) 資料2
事務局職員職氏名	部長 浅見泰志、次長 佐藤政史、館長 平岡康子、主幹 松本 智、 副主幹 松下麗比奈、主任 佐藤敏章 主任 松橋 茂子
会議録作成方法	要点筆記方式

会 議 録 (2)

議事の概要(経過)・決定事項

- 1.開会
- 2.会長あいさつ
- 3.協議事項
(1)第3次入間市立図書館基本計画(令和4年度～令和8年度)の進捗状況について
- 4.報告事項
(1)令和6年度上半期の事業について
- 5.その他
- 6.閉会

会議録(3)

発 言 者	発 言 内 容
松本主幹	<p>協議事項 (1)第3次入間市立図書館基本計画(令和4年度～令和8年度)の進捗状況について (資料P1～P6に基づき説明)</p> <p>「第3次入間市立図書館基本計画の進捗状況」について、説明いたします。お手元の資料1ページの「資料1」をご覧ください。</p> <p>第3次入間市立図書館基本計画は、令和4年度から令和8年度の5か年の計画となっています。</p> <p>「くらしに役立ち 学びを支える 身近な図書館」を基本理念としており、基本理念のもと、4つの基本方針を定めて、図書館の目指すべき姿を実現するため、第2次基本計画の課題を踏まえ、個々の基本方針に具体的な取り組みを掲げています。現在、計画期間の半分が経過したことから、この資料では、現時点においての、成果、課題についてまとめています。</p> <p>はじめに基本方針「①計画的な資料の収集と蔵書管理」についてですが、成果としましては、児童書をさらに充実させるために「クラウドファンディング型ふるさと納税事業」に取り組みました。目標額100万円に対し、134万4千円を達成し、約720冊を購入予定です。ご協力いただいた方に感謝いたします。</p> <p>蔵書管理につきましては、市民のくらしや学習に役立つ資料を提供するため「入間市立図書館資料収集基準」に基づき、図書館資料の計画的な収集を行うとともに、「入間市立図書館資料除籍基準」に基づき、定期的に適切な除籍を行うことにより、限られた書架を魅力あるものとして維持することに努めています。課題として、除籍しきれなかった分野もあるため、今後とも、収集・除籍により、魅力ある蔵書構成を目指します。</p> <p>ほかに、入間市ゆかりの人物コーナー設置について検討、また、雑誌の廃刊・休刊が多くなっているため補填の検討が必要と考えています。</p> <p>次に、2ページをご覧ください。基本方針「②学びの拠点となる図書館サービスの提供と充実」についてですが、成果としまして、レファレンスサービスを充実させるために、令和5年度から、国立国会図書館のデジタル化資料送信サービスを開始しました。国立国会図書館のデジタル化資料送信サービスとは、国立国会図書館でデジタル化した図書や雑誌のうち、絶版などで現在入手不可能な資料について、国立国会図書館に出向かなくても閲覧・複写できるサービスです。</p> <p>レファレンスサービスについては、所蔵資料だけではなく、県立図書館や国立国会図書館等の類縁機関の資料やレファレンスサービスを利用することで、利用者の求めに応じて適切に対応しています。</p> <p>課題としましては、国立国会図書館のデジタル化資料送信サービスのさらなる活用のため、周知方法の検討が必要と考えています。</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>次に3ページをご覧ください。基本方針「③誰もが利用しやすいサービスの提供と充実」についてですが、子どもの読書活動の推進の成果としましては、読み聞かせボランティアと連携した「おはなし会」を実施しています。特に本館では、コロナ禍で中止していた「赤ちゃん向けおはなし会」を令和5年11月から再開しました。また、図書館利用教室や図書館施設見学、「あれこれブックガイド」の配布など、学校と連携し、児童生徒が本に親しむ機会を提供できるよう努めています。あわせて、保育所や学童保育室、放課後子ども教室等に団体貸出や配本サービスを行っています。図書館からのお知らせについては、「入間市公式広報ツール」すぐるやLINEを活用し、児童・生徒に周知を図っています。</p> <p>次に4ページをご覧ください。障害のある方、高齢者にも利用しやすいサービスの提供の成果としましては、大活字本「LLブック」の充実を図っています。また、デイジー図書の作製や貸出、文章を読み進めるのが苦手な方、ディスレクシアや視覚障害のある方をサポートする道具としてのリーディングトラッカーを設置しました。</p> <p>課題としましては、赤ちゃんタイムの充実やティーンズコーナーとイベントの充実、さらに「りんごの棚の設置」が課題と考えています。</p> <p>最後に、5ページ、6ページをご覧ください。基本方針「④図書館の環境整備と効率的な運営」についてですが、主な成果としましては、分館を運営している指定管理においては、「モニタリング」を実施することにより、管理運営について確認をし、本館と分館において、密に情報共有を図ることで、運営方針の徹底を図っています。</p> <p>移動図書館「やまばと号」の運営につきましては、サービスの拡充を図るため、普段巡回していない小・中学校に特別訪問を実施したり、青少年活動センターのフェスティバルに参加したりしました。</p> <p>なお、令和6年9月議会において、「移動図書館やまばと号の利用状況について」一般質問が提出され、実施の経緯や利用状況、今後の方向性等について、答弁を行いました。移動図書館の今後のあり方につきまして、図書館の将来的なあり方の検証に合わせて、検討していきたいと考えています。</p> <p>宮寺配本所につきましては、定期的におはなし会を実施することにより、運営の充実を図っています。また、コロナ禍で中止または縮小していた「冬のおたのしみ会」を再開し、ボランティア活動の場を提供しています。</p> <p>課題としましては、読み聞かせ養成講座等を開催し、新たなボランティアを育成し、活動を広げていきたいと考えています。</p> <p>以上、概略となりますが、説明とさせていただきます。</p> <p>計画の残りの期間「第3次入間市立図書館基本計画」の推進に向け、さらに令和9年度からの「第4次入間市立図書館基本計画」の策定に向け、今後の図書館の目指すべきあり方につきまして、委員の皆さまのご意見を</p>

発 言 者	発 言 内 容
清水会長	<p>いただきたく思いますので、ご協議くださいますようお願いいたします。</p> <p>図書館の目指す姿の実現の取り組みということで、図書館のイメージとしては、本を借りる・勉強できるスペースがあるというのが大部分ではないかと思いますが、図書館にはあらゆる情報が詰まっており、自分が疑問に思ったこと、困ったこと、必要な情報が獲得できる場所であります。特に最近は図書館離れ、本離れと言われていますが、図書館はとても開かれた場所で、何かおもしろいものがないかと足を運ぶ居場所でもあります。そこで思いがけない情報に出会い、また自分の世界が広がり、好奇心に目覚めるきっかけを図書館は与えてくれるものだと思います。</p> <p>1 ページの「①計画的な資料の収集と蔵書管理」の中では、図書館資料の収集・整理・保存・提供ということで、地域の課題を考え、地域の住民が情報源として図書館に頼るといことは大事なことだと思います。地域の課題としては、私の地域では高齢化が進んで、空き家も目立ってきています。また、新年度に向けて役員を決める時期にきていますが、引き受ける人がいなく、これから地域はどうなるのかという心配も出てきます。地域を活性化するにはどうしたらよいかという事例等を図書館が情報として与えることはとても大事なことだと思います。そのような事例を基に、図書館で講演会を開催したり、行政の関連部署と連携したりすることにより、図書館のイメージが、1歩2歩前進できるのではないかと思います。</p> <p>2 ページの「②学びの拠点となる図書館サービスの提供と充実」では、最初にレファレンスサービスというのが出ていますが、以前聞いた話ですが、ある方が児童期の発達障害の人とどう接したらよいかかわからず、図書館へ行ったところ、図書館の方が本を紹介してくれたそうです。発達障害の方とどう接したらいいか、その対処法について、レファレンスサービスを通して情報を得ることができ、安心と励みになったということです。このようなことから、レファレンスサービスは、これからの図書館の大きなキーワードになるのではないかと思います。</p> <p>また、図書館は、地域の子育て・環境・福祉活動をしているグループと連携し、学びの拠点として活用していただけるよう目指したらよいと思います。</p> <p>3 ページの「③誰もが利用しやすいサービスの提供と充実」の中では、現在、図書館を利用されているのは、高齢者と親子連れが多いのではないかと思います。これからの図書館としては、中間層の掘り起こしが大事ではないかと思っています。朝は高齢者、午前中から昼過ぎは親子連れ、夕方は学生、夜は仕事帰りの方の利用があると思います。</p> <p>図書館の本は哲学・歴史・社会科学など分類で並んでいますが、あまり図書館を利用しない人は、本がびっしり並んでいることにしり込みしてしまうのではないかと思います。そこで一つの案として、例えば、最近図書館に入ると季節のテーマの本が置いてありますが、それをもう少し拡大し</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>て、アウトドアやスポーツ、料理など独自のテーマの分類も考えてみるのもよいのではないかなと思います。</p>
青山委員	<p>移動図書館「やまばと号」について、利用状況やどのような方が利用しているのかを教えてください。</p>
平岡館長	<p>移動図書館「やまばと号」については、高齢者や親子連れの方が多く利用されています。また、小学校にも8校出向いていますので、学校の昼休みや放課後を利用して児童の方たちにも多く利用いただいている状況です。</p> <p>令和5年度については、入間ビレジなど、黒須地区のステーションの利用が多い状況でした。同じ豊岡地区でも、本館まで来館するのは遠いからだと思われます。また、仏子ニュータウンや野田のファミリーマートも利用が多い状況でした。本館や分館に遠い地域の方に利用していただいている傾向があります。</p>
清水会長	<p>やまばと号の利用が減っているということで、私も以前、質問させていただきました。また、9月議会において一般質問が出され、教育部長が、高齢者、障害者施設、病院への巡回等についても検討していくと答弁されています。</p>
塩澤委員	<p>宮寺小学校もやまばと号に来ていただいております、多くの児童が利用させていただいております。</p>
森谷副会長	<p>3ページの「②学びの拠点となる図書館サービスの提供と充実」の課題のところ、図書館だよりの発行部数の見直しとありますが、図書館だよりは、印刷会社に頼んで印刷し配布しているのでしょうか。発行部数が少ないのなら、自館で印刷したらよいのではと思うのですがいかがでしょうか。</p>
平岡館長	<p>図書館だよりは図書館職員が作成し、図書館の印刷機で印刷しています。以前は様々な施設等に配布していましたが、紙の削減等を踏まえて、配布施設等の見直しを行うということで、発行部数の見直しとさせていただきます。</p>
森谷副会長	<p>私は、パソコンもスマホも持たない紙ベースの生活をしているものですから、新たな媒体についての検討も必要かと思いますが、紙はなくさないでいただきたいと思います。</p>
松田委員	<p>1ページの「①計画的な資料の収集と蔵書管理」の中で、「入間市立図書館資料除籍基準」とありますが、除籍基準というのは見ることができですか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
平岡館長	ホームページで公開していますのでご覧いただけたらと思います。
松田委員	除籍については、古くなったり破れたりしたものは仕方ないにしても、何をもって利用価値がなくなったかとか、ご意見を持たれる方もいるかと思ひます。思想的ということで、除籍されることがあるのかなと思うと心配です。
平岡館長	図書館では、収集基準に基づいて資料を収集しています。除籍につきましても、古くなった本、情報が古くなった本などを中心に除籍をしています。除籍するというのは、スペースがない状況でやむを得ない手段として考えています。図書館では、除籍について慎重に行っています。
松田委員	2ページの「入間市立図書館公式LINEアカウント」にアクセスするにはどうしたらよいのでしょうか。
松下副主幹	「入間市立図書館公式LINE」は、新システムを令和5年1月に導入した時に始めたものです。図書館ホームページや、館内のポスターや配布チラシに記載しているQRコードを読み込んでいただきますと、友だち登録できます。
松田委員	LINEは手軽に使いやすいツールです。多くの方が利用されたら良いと思います。 6ページの「読み聞かせ養成講座を開催し、新たなボランティアを育成する」とありますが、具体的にどのように進めていくのでしょうか。
平岡館長	具体的には決まっておりませんが、読み聞かせボランティアの養成は大切なことだと考えていますので、会員の方が増えるような方策を考えてまいります。
松田委員	なるべく早い時期にお願いします。新しい方たちが入ってきてくれることを希望します。
平岡館長	前回の図書館協議会において、学校図書館ボランティア研修会の際、読み聞かせのしかたについて行ったらよいとのご意見をいただきました。そこで、10月に学校図書館ボランティア研修会を開催し、読み聞かせについて、図書館職員が説明しました。その際に、本館、分館のボランティアグループの活動について紹介をし、図書館でのボランティア活動に興味を持っていただけるよう周知をしました。
森谷副会長	1ページに「各館にリサイクルコーナーを設置し、除籍図書の有効活用を図った」とありますが、私は図書館に来るといつも、本館入り口のリサイクルコーナーを見えています。このコーナーを見ている人は結構多いです。常時設置しているのは非常によいことだと思います。

発 言 者	発 言 内 容
島津委員	<p>図書館は、感動の場だと思っています。自分が中学生になった時、今まで読んでいた童話の本ではなく、壁一面にある大人の本を読めるようになるのだと感動しました。今、夫も分館に通うようになって、こんなにいい本がたくさんあるということに感動しています。こういう気持ちは大人になっても子どもの時でも必要だと思っています。</p>
清水会長	<p>図書館に所蔵のない本を、リクエストできる制度は良いと思っています。しかしながら、第3次入間市立図書館基本計画18ページ「県内図書館利用状況比較表」の図書購入費を見ると、入間と狭山は大体似たような規模ですが、図書購入費については、狭山は入間の倍です。予算が少ない状況を知ると、リクエストをすることを控え、結果、近隣の図書館の利用をすることになります。入間市立図書館の利用状況を上げるためには、図書購入費の増額を要望します。</p>
森谷副会長	<p>4ページの「配本サービス」について、令和4年度から令和5年度にかけて5団体減ってきていますが、実態を教えてくださいたいのですが。</p>
平岡館長	<p>5団体減った要因は、施設からの要望がなかったということです。減少はしていますが、多くの団体から、毎月定期的に要望をいただいております。配本サービスについては、図書館では特に力を入れているところです。</p>
森谷副会長	<p>私は扇小学校で読み聞かせボランティアをしています。扇小学校ではボランティアが図書館から本を借りて使っています。そのようなことも配本サービスというのですか。</p>
平岡館長	<p>配本サービスは、図書館職員が本を持ってその施設に届けるというものです。団体の方が借りるのは、団体貸出といいます。</p>
森谷副会長	<p>配本サービスは、団体がリクエストして持っていくのですか。</p>
平岡館長	<p>団体の方から、このようなテーマの本を何十冊というようなオーダーをもとに、図書館職員が選んで定期的に持って行っているものです。</p>
北村委員	<p>ボランティア活動について、中学生の力を借りていらっしゃいますか。例えば中学生が小学生に読み聞かせをすることにより、繋がりができるのではないかと思います。中学生・小学生や高校生の力を借りて、その人たちが読むことによって図書館の活性化に繋がりが、ボランティア活動として広がっていくとよいと思います。</p> <p>また、移動図書館やまぼと号について、やまぼと号だけを置くのではなく、例えばキッチンカー等を一緒に置くことによって、そこで楽しい時間を過ごせるということはいかががでしょう。本を借りるだけでなく、2つか3つ位、目的を持たせると可能性が広がるのではないかと思います。</p>

発 言 者	発 言 内 容
浅地委員	今は行っていませんが、以前やまぼと号が公民館に来ている時、ボランティアがそこに行って子どもさんに本を読んだりしていました。
清水会長	図書館のこれからの可能性として、障害のある方にもどんどん利用してもらうこともひとつのポイントではないかと思います。浅地委員は朗読ボランティアをやっていただいていますがいかがでしょう。
浅地委員	朗読ボランティアグループ「はづき」では、デージー図書を作成しています。これは、視覚障害者だけに限られているものです。デージー図書は、形態はCDですが、特別の機器でないと再生できません。健康福祉センターで録音、編集し、完成までに約3か月の時間を要するため、年間4～5点ぐらいの作成になっております。
清水会長	図書館を知っていただく、また利用していただくためにボランティアとして感じることはありますか。
多田委員	<p>私は藤沢分館「トトロ」でボランティアをしています。今おはなし会では、読み手のほうが多いこともあります。参加者を増やすためには、読み聞かせの曜日を変える方法もあると思います。</p> <p>LINEはとても便利です。予約もでき、また、図書カードの番号も表示されますので、今自分が借りている本も確認できます。LINEの利用について、若いお母さんにも広めると利用しやすいのではないのでしょうか。図書館に赤ちゃんを連れてきて本を選ぶのは大変ですが、LINEで予約して本を用意してもらうと便利ですし、図書館にも来館しやすくなるので、宣伝したほうがよいと思います。</p>
平岡館長	<p>読み聞かせの日程については、各館で検討し、より利用者が参加しやすい曜日を選択し、行ってまいります。</p> <p>本館につきましては、毎週土・日曜日に行っており、多くの親子連れの方に来ていただいています。</p>
多田委員	冬のおたのしみ会など、大きな行事の時は、小学生のお子さんもお父さんも来ていただけるので、開催時期の検討をお願いします。
平岡館長	各館でボランティアの方と相談し開催してまいります。LINEについても図書館ではチラシを作成し案内しておりますが、さらに周知できるような方法を考えてまいります。
松田委員	西武分館「かぎぐるま」でボランティアをしていますが、おはなし会は以前水曜日に行っていましたが、参加者が少なかったことから、11時からを10時半からに変更しました。曜日も、水曜日から毎週土曜日と第1・3日曜日と変更しました。図書館で、来ていただいている人にアンケ

発 言 者	発 言 内 容
森谷副会長	<p>一トをとっていただくなど、利用者の声を拾いながら運営していくのがよいと思います。</p> <p>本館では、毎週土・日曜日14時から、また、赤ちゃんおはなし会を、月1回火曜日に行っていますが、ここ数か月子どもたちが多く来ています。リピーターも多く見受けられます。コロナでダウンしましたが、ここに来て参加者が増えてきていると思います。</p>
松田委員	<p>先ほど読み手のほうが多いという話がありましたが、西武分館「かざぐるま」は3つのグループに分けて3人ぐらいと図書館員でシフトを組んで行っています。</p>
多田委員	<p>藤沢分館「トトロ」においてもシフトは、4人ずつ組んでいますが、都合がつかず、休む方もいるため多めにしています。ボランティア4人になると、読み手が多くなる時があります。</p>
松田委員	<p>ボランティアが1人になったとしても、図書館の職員がいるので、読み手が多いという状況にはなりません。</p>
清水会長	<p>ボランティアの方には、頭が下がります。</p> <p>昨日の新聞で、一日に本を読まない方が6割もいるという記事がありました。本離れ・読書離れが、図書館離れの1つの要因になっているのかと思います。今、学校では読み聞かせの時間はないのでしょうか。</p>
塩澤委員	<p>毎週金曜日に朝読書をしています。また、月2回程度、読み聞かせのボランティアの方に、読み聞かせをしていただいています。常々子どもたちに読書を推奨しています。</p>
森谷副会長	<p>第3次入間市立図書館基本計画の最終ページに5年後の目標値があります。次回の図書館協議会において、現時点での実績値を教えてください。</p>
清水会長	<p>計画期間の残り約2年間で、令和8年度の目標値を達成できるよう取り組んでください。</p>
	<p>報告事項 (1)令和6年度上半期の事業について (資料P7～P8に基づき事務局より説明)</p>
清水会長	<p>西武分館、金子分館、藤沢分館は、来年度、指定管理者とし最終年度となります。皆さんも図書館に行った際、以前と雰囲気が変わったと感じていると思います。その一つには民間のノウハウを取り入れ、子どもが足を運ぶような事業を行っているからだと思います。</p>

